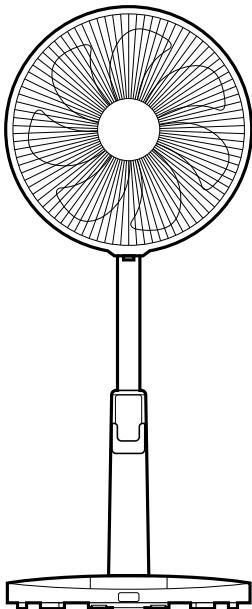


取扱説明書

リビング扇風機
保証書付（裏表紙）

ANGV-FAD30-B



経年劣化によるご注意

長年使用している製品は、火災などの事故につながるおそれがあります。安心してご使用いただくため、長期間使用しましたら安全のため必ず点検することをおすすめします。

ご使用環境及びご使用時間などが異なるため、点検時期、点検方法及び点検費用については販売店またはエディオンお客様相談センターにご相談ください。

もくじ

この度は、e angle リビング扇風機をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、
正しいご使用をお願いいたします。
また、この取扱説明書はいつでも見ることができる所に
保管してください。

この製品は日本国内用に設計されていますので、
日本国外では使用できません。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上のご注意	2
各部のなまえ	6
組み立てかた	8
使いかた	11
取り外しかた	16
お手入れのしかた	17
保管のしかた	18
故障かな?と思ったら	19
仕様	21
部品・消耗品・付属品	21
長期使用製品安全表示制度に基づく 本体表示について	22
アフターサービス	23
保証書	裏表紙

| 安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。



警告

製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。修理は、販売店または家電の119番にご相談ください。



禁止

子ども、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

感電・けがの原因になります。



禁止

製品のすき間、開口部にピンや針金などの金属物を入れない

本体内部に入り、ショート・故障・けがの原因になります。



禁止

以下の場所では使わない

感電・ショート・火災・爆発の原因になります。

また、事故・故障の原因になります。

火気の近く、水しぶきのかかるところ、高温多湿になるところ、油や油煙が発生するところ、引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くなど



禁止

風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない

不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



禁止

乗ったり寄りかかったりしない

感電・やけど・けがなどの原因になります。



水ぬれ禁止

本体、電源コード、電源プラグやリモコンを水につけたり、水をかけたりしないショート・感電の原因になります。



包装用ポリ袋は子どもの手の届かない場所に保管する

誤って顔にかぶつたり、首に巻きついたりして窒息し、死亡の原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
 - 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
 - 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
 - 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
 - 本体が作動しないなど
- 上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または家電の119番に点検・修理を依頼してください。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを突っ張った状態で使用しない

電源コードがショートや断線して火災・感電の原因になります。



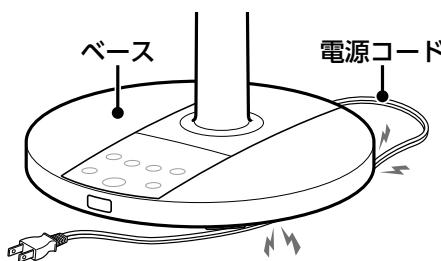
電源コードをステップルやくぎなどで固定しない

電源コードがショートや断線して火災・感電の原因になります。



電源コードをベースで踏みつけたままにしない

火災・感電の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグを子どもになめさせない

子どもが誤ってなめないように注意してください。
感電やけがの原因になります。



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



部品の取り付け・取り外し・お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。



雷が鳴り出したら運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電・故障の原因になります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

| 安全上のご注意

⚠ 警告

電池について



電池の取り扱いには充分注意する

使いかたを誤ると、発熱や破損、けが・やけど・感電の原因になります。

- 指定以外の電池を使わない
- +と-を逆にして使わない
- 充電、分解、加熱しない
- ショートさせない
- 火の中に入れたり、加熱しない
- 水につけたり、ぬらさない
- 電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流す
- 長期間使わないときは、電池を取り出す など



禁止

電池は子どもの手の届くところに置かない

子どもが電池をなめたり飲み込んだりしないよう充分注意してください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

羽根・ガードについて



禁止

羽根・ガードを取り外した状態で運転しない

けがの原因になります。

使用中にガードを持って、上下左右に風向きを変えない

上下左右の風向きを変えるときは、電源を切り、モーター部を持って動かしてください。けが・故障の原因になります。



禁止

ガードに髪などを近づけない

巻き込まれて、けがの原因になります。

ガードにタオルなどをかけない

故障の原因になります。



ガードの中や可動部へ指などを入れない

重大なけがの原因になります。特に子どもには注意してください。

⚠ 注意

使用上の注意事項



接触禁止

使用後しばらくは、モーター軸に直接触れない

高温のため、やけどの原因になります。お手入れの際は、運転停止後30分程度待ってから行ってください。



禁止

カーテンなどの障害物の近くや不安定な場所では使わない

転倒して、羽根の破損・けがの原因になります。



禁止

風を長時間、体に直接当てない

健康を害する原因になります。特に、乳幼児・お年寄り・ご病気のかたは注意してください。



禁止

製品を絶対に業務用に使わない

製品は一般家庭用です。業務用にお使いになると無理な負担がかかり、火災・故障の原因になります。



禁止

殺虫剤・整髪料・掃除用具などのスプレーをかけない

樹脂や塗装部分が変質したり、破損したりする原因になります。



禁止

動植物に直接風を当てない

害を与えるおそれがあります。



禁止

製品を移動するときは引きずらない

床面や畳に傷が付く原因になります。



禁止

市販の保護ネットを取り付けない

ネットがガードに吸い込まれ、羽根の破損・けがの原因になります。



お手入れおよび製品の組み立ては取扱説明書通りに行う

部品が外れ、けがの原因になります。



お手入れは運転停止後、30分程度待ってから行う

モーター軸の高温部に触れ、やけどの原因になります。



禁止

お手入れするときは、モーター軸を目や顔に近づけない

先端に接触してけがの原因になります。



禁止

長時間直射日光に当てない

変色などの原因になります。



禁止

テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わない

電波が弱いときや室内アンテナを使っているときに、雑音が入ることがあります。影響のないところまで離してご使用ください。



禁止

製品に油などを付けない

破損・けがの原因になります。



禁止

フローリング床をワックス掛けした後は、ワックスが充分乾いてから製品を置く

あとが付いたり、ワックスが剥がれる原因になります。



丈夫で水平な床面に置く

不安定なところに置くと、転倒して、けがの原因になります。



製品に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する

羽根やガードが外れたり、落下によりけがをする原因になります。

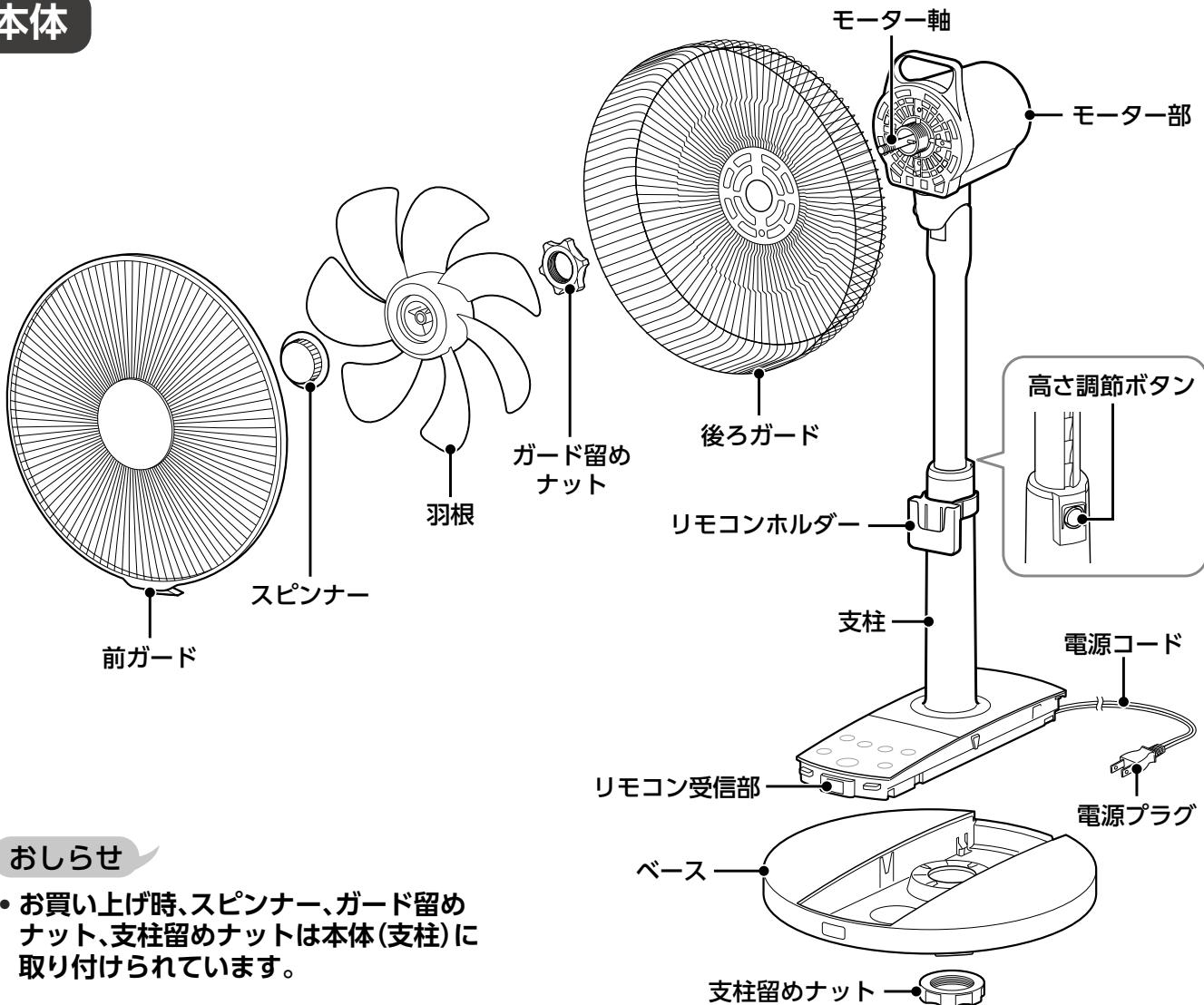


輸送するときは箱に収納して輸送する

破損の原因になります。

| 各部のなまえ

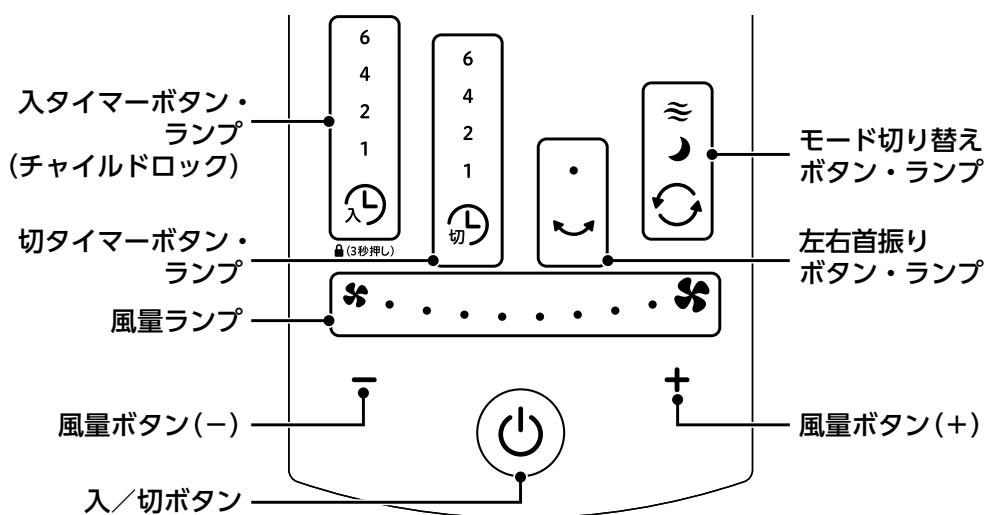
本体



おしらせ

- お買い上げ時、スピナーやガード留めナットは本体(支柱)に取り付けられています。

▶ 操作パネル



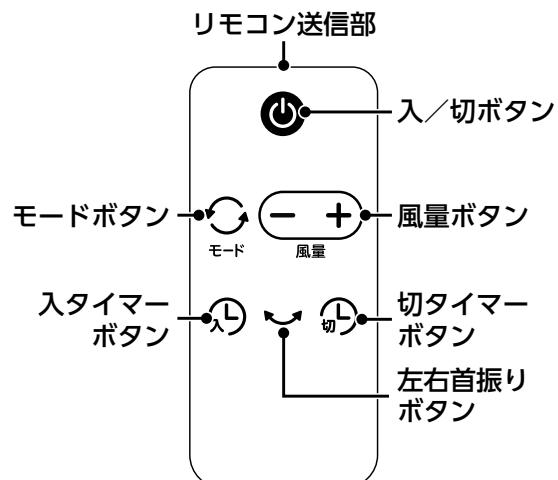
リモコン

リモコンで本体の操作ボタンと同じ操作ができます。

▶ リモコンの使いかた

リモコンをお使いになる前に、裏面の絶縁シートを引き抜いてください。

リモコン送信部を本体のリモコン受信部に向けて、ボタンを押します。リモコンを操作できる範囲は約5mです。

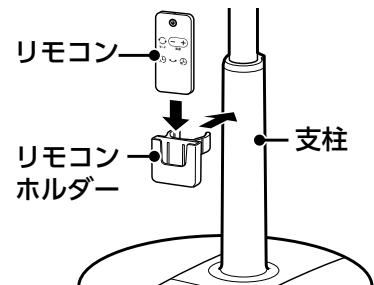


ご注意

- 以下のような場合は、リモコンの操作ができないことがあります。
 - 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物(羽根・ガード含む)がある場合
 - インバーター照明器具、蛍光灯をお使いの場合
 - 本体の受信部に直射日光などの強い光が当たっている場合
- リモコン送信部に傷を付けないでください。
- リモコンのボタンを、2つ以上同時に押さないでください。
正常に使えなくなるおそれがあります。

おしらせ

- 電池はリモコンに入っています。テスト電池のため寿命が短くなっている場合があります。
- 付属のリモコンホルダーを支柱部分に取り付けてリモコンを収納できます。



▶ 電池交換のしかた

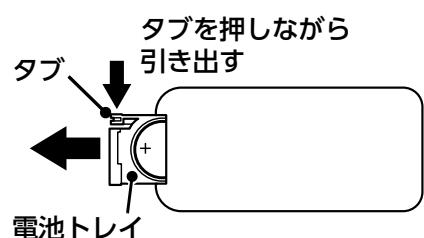
電池が消耗して動作しにくくなったときは、市販の新しいリチウム電池(CR2032)と交換してください。

① リモコンを裏返し、右図のタブを押しながら電池トレイを引き出す

② 古い電池を新しい電池に交換する

印字面(+側)を上向きにしてリチウム電池を電池トレイにセットします。

③ 電池トレイをリモコンにセットする



- 警告**
- リチウム電池は子どもの手の届くところに置かないでください。子どもが電池をなめたり飲み込んだりしないように充分注意してください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
 - リチウム電池を火の中に入れたり、加熱、分解、改造をしないでください。発熱、破裂による液もれやけがの原因になります。
 - 電池の(+)(-)を間違えないように正しく入れてください。
 - 長期間使わないときは、電池を取り出してください。

お願い

使用済みの電池は、(+)(-)の端子をテープで巻いて絶縁してから、お住まいの地域の分別方法に従って廃棄してください。

| 組み立てかた

ご注意

- ・組み立てる前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
感電・けがの原因になります。
- ・羽根・ガードを取り外した状態で運転したり、高さ調節ボタンを押したりしないでください。
モーター部が飛び出して、けがの原因になります。
- ・製品が入っていた箱、緩衝材、ポリ袋などの梱包資材は、長期間使わないときの収納のため
に、捨てずに保管しておいてください。

支柱は単体では立ちません。組み立て前は横向きに倒してください。

- ・支柱を持つときは、両手でしっかり持ってください。片手で持つとバランスが取れず
にモーター部が下がり、けが・故障の原因になります。
- ・横向きに倒すときは、モーター軸に衝撃を加えないでください。故障の原因になります。

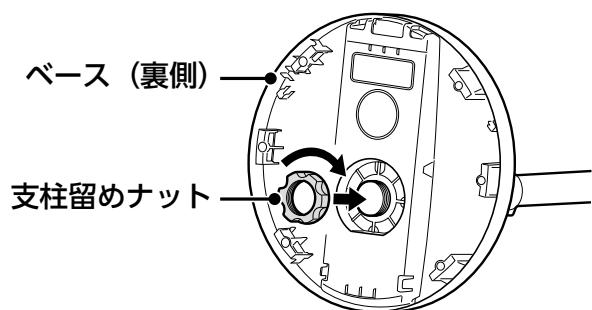
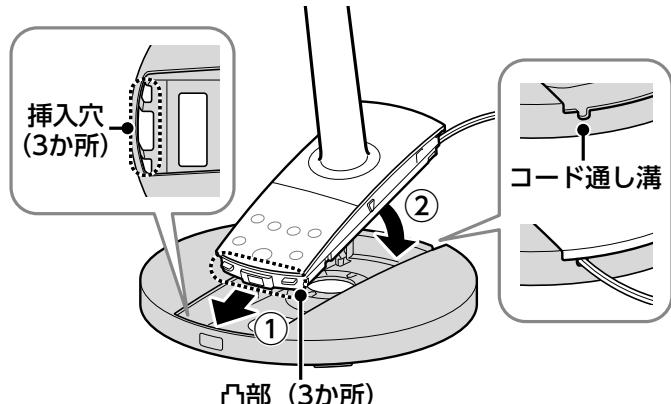
支柱をベースに取り付ける

本体(支柱)に取り付けられている支柱留めナットを外してください。

**1 支柱の凸部(3か所)をベース
に差し込む**

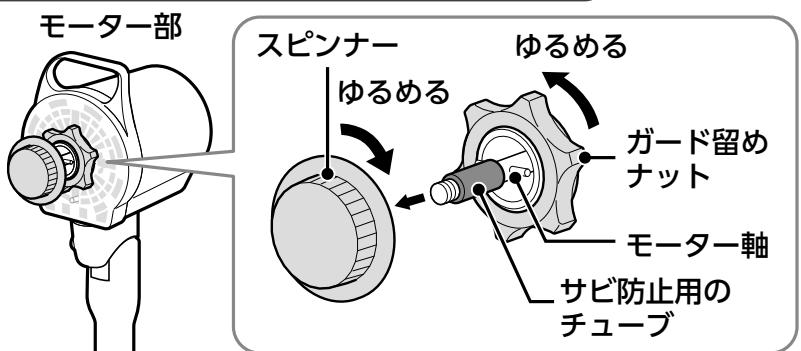
**2 電源コードをベースの溝に
通し、支柱をはめ込む**

**3 支柱とベースを手で押さえな
がら横に倒し、支柱留めナット
を時計回りに回し、しっかりと締
め付ける**



サビ防止用チューブ・スピンナー・ガード留めナットを外す

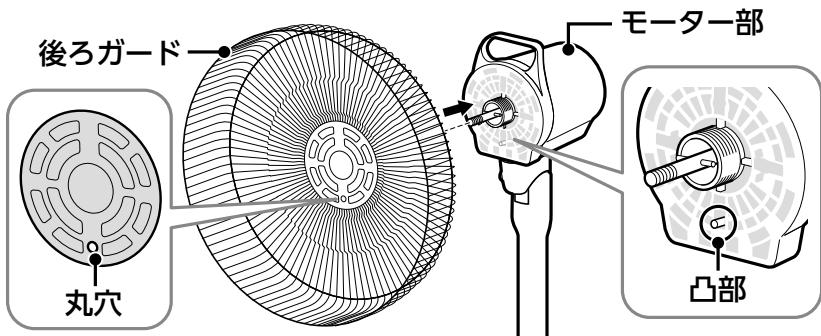
モーター軸からチューブ・スピンナー・ガード留めナットを外してください。チューブを外さないと羽根が取り付けられません。チューブは保管時に使用するため、捨てないでください。



後ろガードを取り付ける

1

後ろガードの丸穴
をモーター部の凸
部に合わせて差し
込む

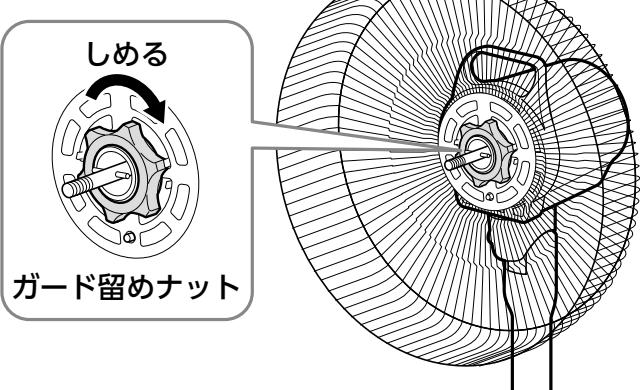


2

モーター軸にガード留め
ナットを差しこみ、時計回
りに回してしっかりと固定
する

ご注意

- ガード留めナットは、確実にしつ
かりと固定してください。
ガードが外れて、損傷・けがの原因にな
ります。



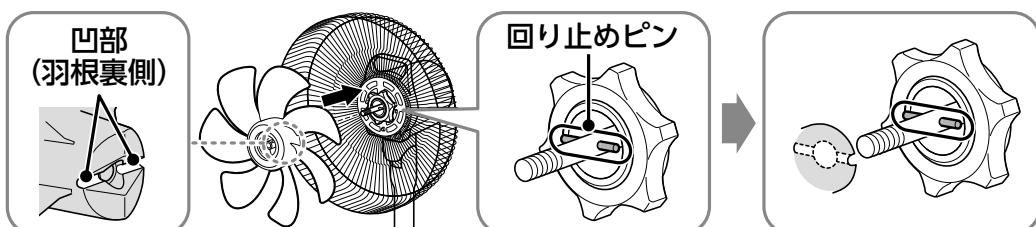
羽根を取り付ける

1

モーター軸の回り止めピンと、羽根裏側の凹部の向きを合わせて、
羽根をモーター軸の奥まで差し込む

ご注意

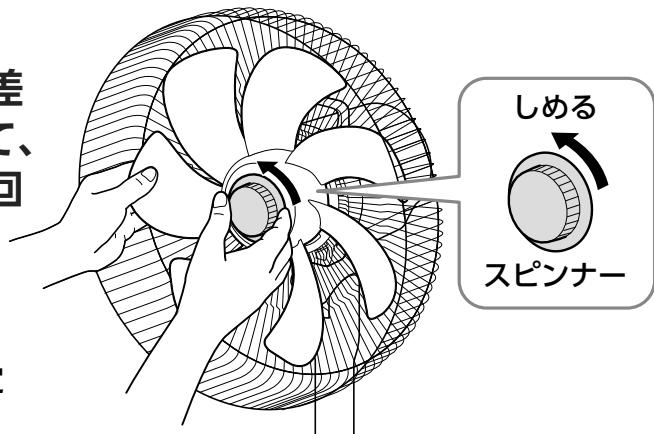
- 羽根は必ず表側を前にして、正しい向きに取り付けてください。



| 組み立てかた

2

モーター軸にスピナーナーを差し込み、手で羽根を押さえて、スピナーナーを反時計回りに回してしっかりと固定する



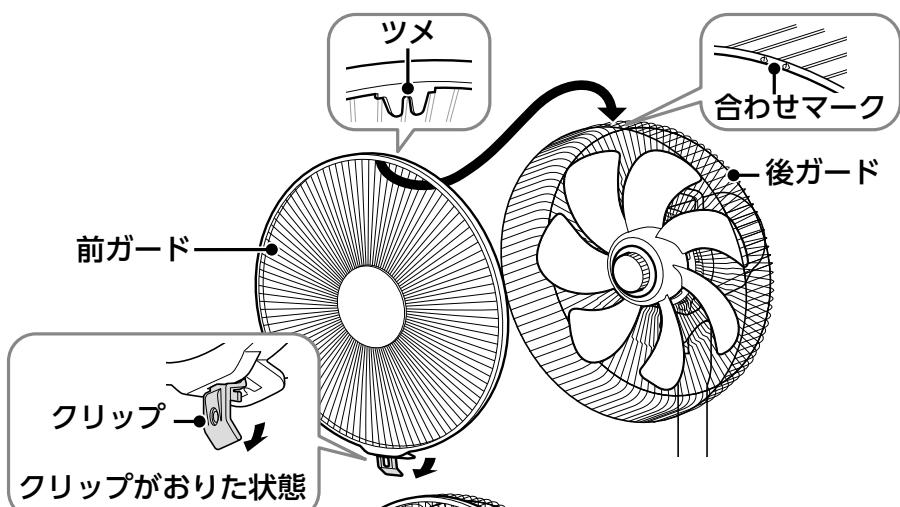
ご注意

- ・スピナーナーは確実にしっかりと固定してください。
羽根が外れて、けがの原因になります。

前ガードを取り付ける

1

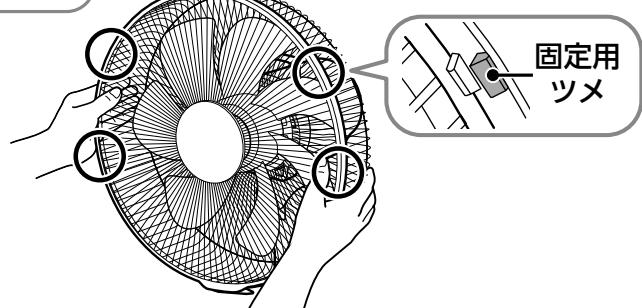
図のようにクリップをおろして、前ガードのツメを後ろガードのマークに合わせてはめ込む



2

前ガードを後ろガードにかぶせるように、上から順にはめ込む

前ガード内側の固定用ツメ4箇所を確実にはめ込んでください。

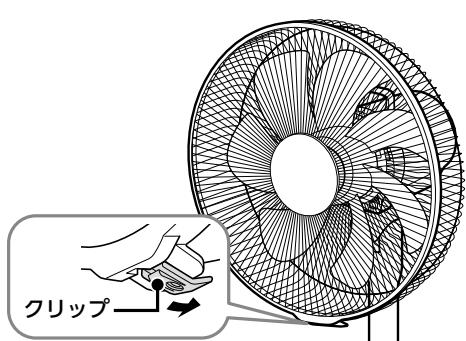


3

クリップを押し込んで固定する

ご注意

- ・前ガードが外れないことを確認してください。
ガードが外れて、けがの原因になります。



| 使いかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 (○) ボタンを押して、電源を入れる

運転を開始します。

再度 (○) ボタンを押すと、運転が停止します。

3 《+》／《-》ボタンを押して、風量を調節する

- 《+》／《-》ボタンを押すたびに、風量が変わります。
風量は「レベル1（最弱）」から「レベル8（最強）」まで8段階に設定できます。
- 風量のレベルに応じて、風量ランプが点灯します。

ご注意

- ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。
重大なけがの原因になります。特に子どもには注意してください。

▶ 切り忘れ防止(8時間)自動オフ機能

運転中に操作しない状態で8時間経過すると、自動的に運転を停止し、切タイマーの6時間ランプが点滅します。

(○) ボタンを押すと運転を再開します。この機能は解除できません。

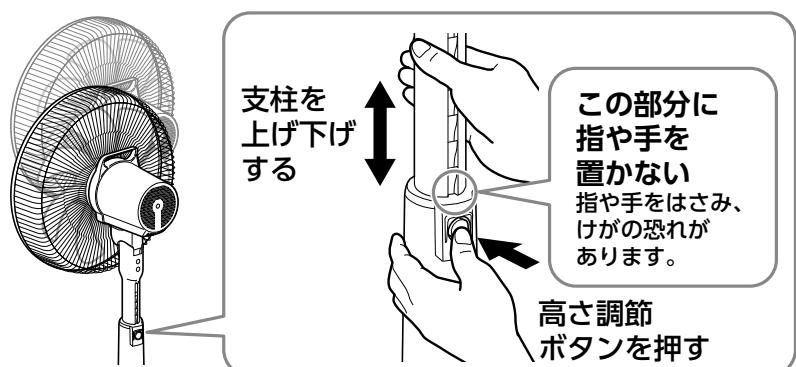
▶ 高さを調節する場合

運転を停止した状態で、高さ調節ボタンを押しながら支柱を上下に動かして、お好みの高さに調節します。

低くする場合は、高さ調節ボタンを押さずに調節できます。カチッとなるところまで下げてください。

ご注意

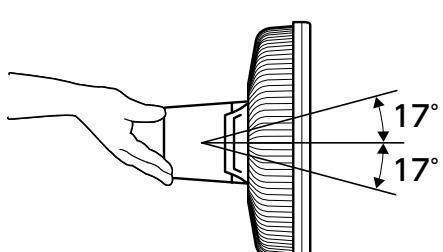
- 運転中に高さ調節をしないでください。
けがの原因になります。



▶ 風向きの調節のしかた

ガードではなく、モーター部を持って動かしてください。

左右に調節するとき



上下に調節するとき



ご注意

- 左図の角度を超えて動かさないでください。
故障の原因になります。

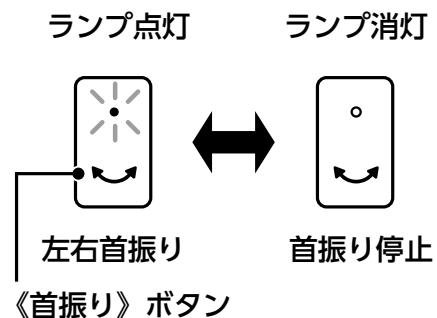
| 使いかた

首振り運転する

左右の首振り運転を設定できます。《首振り》ボタンを押すと、左右の首振り運転が開始します。もう一度押すと、押したときの角度で止まります。

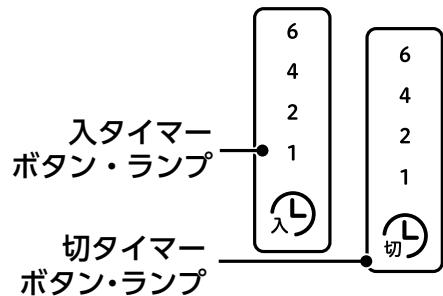
ご注意

- 手でガードやモーター部などを持って停止させないでください。
けが、故障の原因になります。



タイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に運転を開始する入タイマー、自動的に運転を停止する切タイマーを設定できます。



▶ 切タイマーを設定する

予約した時間に自動的に運転が停止するように切タイマーを設定します。

- 運転中、《切タイマー》ボタンを押すごとに、《切タイマー》ランプが「1h (1時間)」→「2h (2時間)」→「4h (4時間)」→「6h (6時間)」→「すべて消灯(切タイマーオフ)」→「1h (1時間)」…の順に切タイマー設定が切り替わります。
- 時間の経過に合わせて、《切タイマー》ランプの表示が切り替わります。
- (○) ボタンを押して電源を切ると、切タイマーの設定は解除されます。

▶ 入タイマーを設定する

予約した時間に自動的に運転を開始するように入タイマーを設定します。

- 運転停止中、《入タイマー》ボタンを押すごとに、《入タイマー》ランプが「1h (1時間)」→「2h (2時間)」→「4h (4時間)」→「6h (6時間)」→「すべて消灯(入タイマーオフ)」→「1h (1時間)」…の順に入タイマー設定が切り替わります。
- 入タイマー設定中、《+》／《-》ボタン、《首振り》ボタンを押して、運転開始時の設定を変更できます。
- 設定した時間になると、運転を開始します。
- 入タイマーで運転開始後、3時間ボタン操作がない場合は、安全のため運転を停止します。
- (○) ボタンを押して電源を切ると、入タイマーの設定は解除されます。

▶ 切タイマー／入タイマーを同時に設定する

切タイマーで運転を停止させ、再び入タイマーで運転することができます。

運転中に切タイマー設定後、入タイマーを設定します。

入タイマー設定時、入タイマーで運転開始するときの設定(風量、首振り)を変更できます。

1 《切タイマー》ボタンを押して、切タイマーの設定時間を選ぶ

2 《入タイマー》ボタンを押して、入タイマーの設定時間を選ぶ

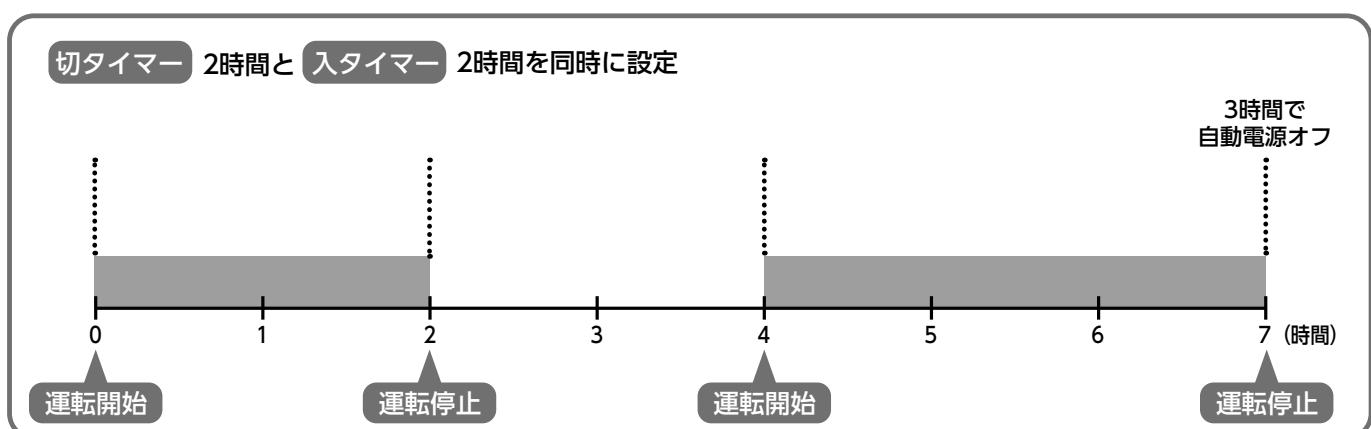
切タイマーで運転停止後、再び入タイマーで運転を開始する時間を選びます。

3 入タイマーランプが点滅中に《+》／《-》ボタン、《首振り》ボタンを押して、運転開始時の設定を選ぶ

設定が完了すると、入タイマーランプが点灯に変わります。

《併用設定の例》

切タイマーを2時間に設定し、その後入タイマーを2時間に設定したとき



おしらせ

- ・入タイマーで運転を開始させ、切タイマーで運転を停止させる設定はできません。
- ・入タイマーで運転開始後、3時間ボタン操作がない場合は、安全のため運転を停止します。運転中に風量変更などの操作を行うと、切り忘れ防止(8時間)自動電源オフ機能に切り替わります。

| 使いかた

送風モードを選ぶ

通常の送風モードの他に「リズムモード」、「おやすみモード」があります。

▶ リズムモード

指定した風量レベルで、風の強弱をランダムにコントロールして、自然に近い心地よい風を再現します。

▶ おやすみモード

設定した風量レベルで運転を開始し、一定時間ごとに風量を段階的に下げていき、約2時間経過すると運転を停止します。

おやすみモードを選ぶと、切タイマーが2時間に設定されます。《切タイマー》ボタンを押して、切タイマーの設定時間を変更できます。

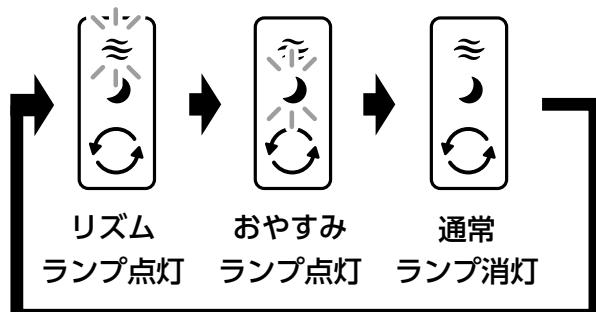
切タイマーを2時間以上に設定した場合は、約2時間経過すると、そのままの風量で約30分ごとに運転と停止を繰り返します。

おやすみモード中は、ランプの明るさが通常時よりやや暗くなります。またボタン操作時の操作音は鳴りません。

1

《モード》ボタンを押す

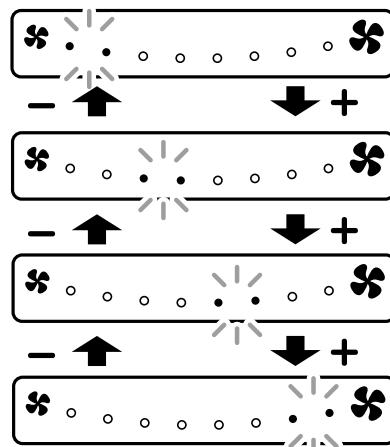
ボタンを押すごとにリズムモード、おやすみモードが切り替わります。



2

《+》／《-》ボタンを押して風量を選ぶ

風量が右図のように切り替わります。



チャイルドロックを設定する

子どもが誤ってボタンを押してしまっても動作させないように、操作パネルのボタンをロックします。

▶ チャイルドロックを設定／解除する

本体の《入タイマー》ボタンをブザーが鳴るまで長押し(約3秒)します。

解除するときは、再度《入タイマー》ボタンをブザーが鳴るまで長押し(約3秒)します。

- ・ チャイルドロック設定中にボタンを押すと、すべてのランプが3回点滅します。
- ・ チャイルドロックが設定されていても、 ボタンを押して運転を停止する操作は可能です。
- ・ 電源プラグを抜くと、チャイルドロックは解除されます。

おしらせ • おやすみモードで運転中はブザーが鳴らず、すべてのランプが1回点灯します。

メモリー機能について

前回ご使用時の送風モード、風量、首振り設定が記憶されます。

 ボタンで電源を切って再び電源を入れた際、前回ご使用時の設定で運転を開始します。

電源プラグを抜いた場合は、記憶されたメモリーがリセットされます。

お買い上げ後初めて使用する場合やメモリーがリセットされた後は、電源を入れると風量6で運転を開始します。

おしらせ • おやすみモード運転中に電源を切って再び電源を入れた場合、おやすみモードで運転を開始しますが、切タイマー(2時間)は設定されません。

使い終わったら

ボタンを押して、電源を切る

長期間使用しない場合やお手入れの際は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

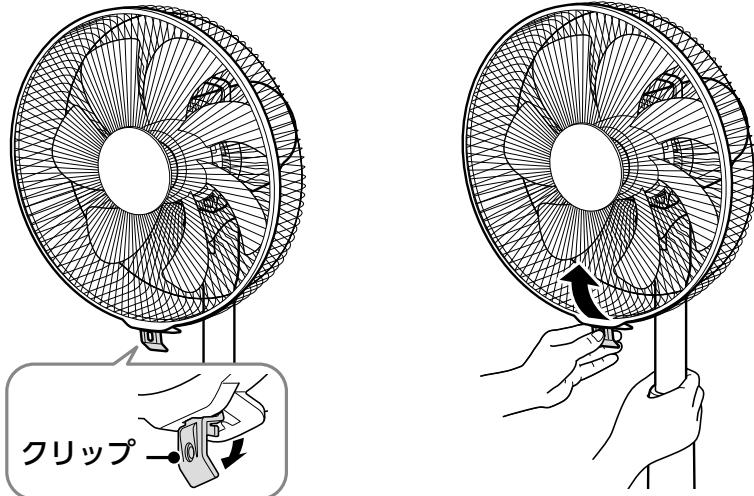
| 取り外しかた

首振り運転をしてガードを正面に向けてから運転を停止し、電源プラグを抜き、組み立てと逆の手順で外します。

1

前ガードを外す

- ① クリップを外す
- ② 支柱を支えながら、クリップを持って手前に引っ張り、前ガードを外す



2

組み立てかたと逆の手順で、羽根と後ろガードを外す

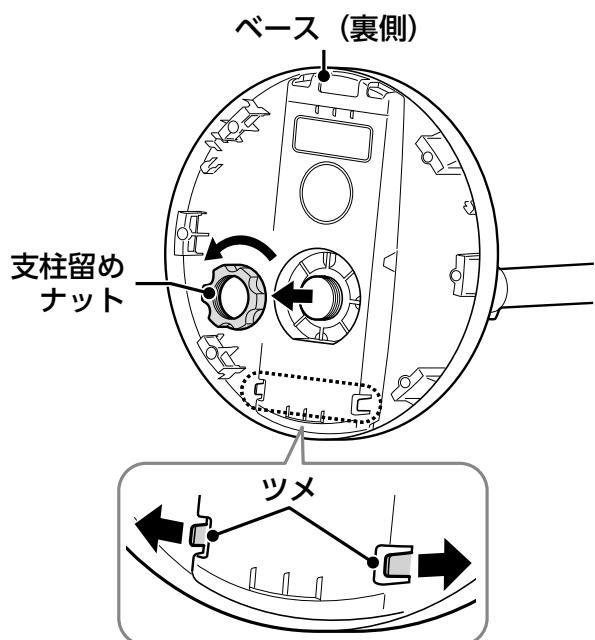
→「組み立てかた」(P 9)

3

ベース裏の支柱留めナットを反時計回りに回して外し、ツメ(2か所)を外側に広げて支柱を外す

ご注意

- ・ベースを押さえながら支柱を外してください。
- ・支柱を持つときは、両手でしっかりと持つください。
片手で持つとバランスが取れずにモーター部が下がり、けが・故障の原因になります。
- ・モーター軸に衝撃を加えないでください。
故障の原因になります。



| お手入れのしかた

ご注意

- ・お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、各パーツを取り外してから行ってください。
- ・運転停止後はモーター軸が熱くなっていますので、お手入れは30分程度待ってから行ってください。
- ・本体を丸洗いしたり、水にひたしたり、水をかけたりしないでください。
感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- ・シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。
表面に傷が付く原因になります。

支柱・ベース・ガード・羽根

- ・柔らかいふきんを水またはぬるま湯にひたして固く絞り、汚れを拭き取る。
- ・汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯にふきんをひたして固く絞り、汚れを拭き取る。

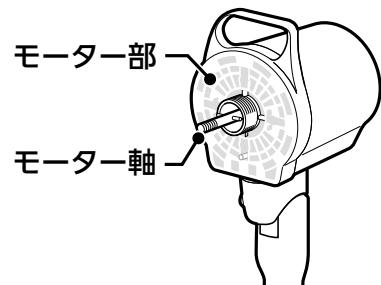


モーター部

モーター軸の汚れは、乾いた柔らかいふきんで拭き取り、サビ防止のためにミシン油を薄く塗ってください。

ご注意

- ・モーター部にほこりが多量に付着していると、異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。



| 保管のしかた

お手入れをした後、モーター軸のサビ防止のため、モーター軸にチューブを取り付けてください。緩衝材を取り付けて箱に収納し、湿気の少ないところで保管してください。

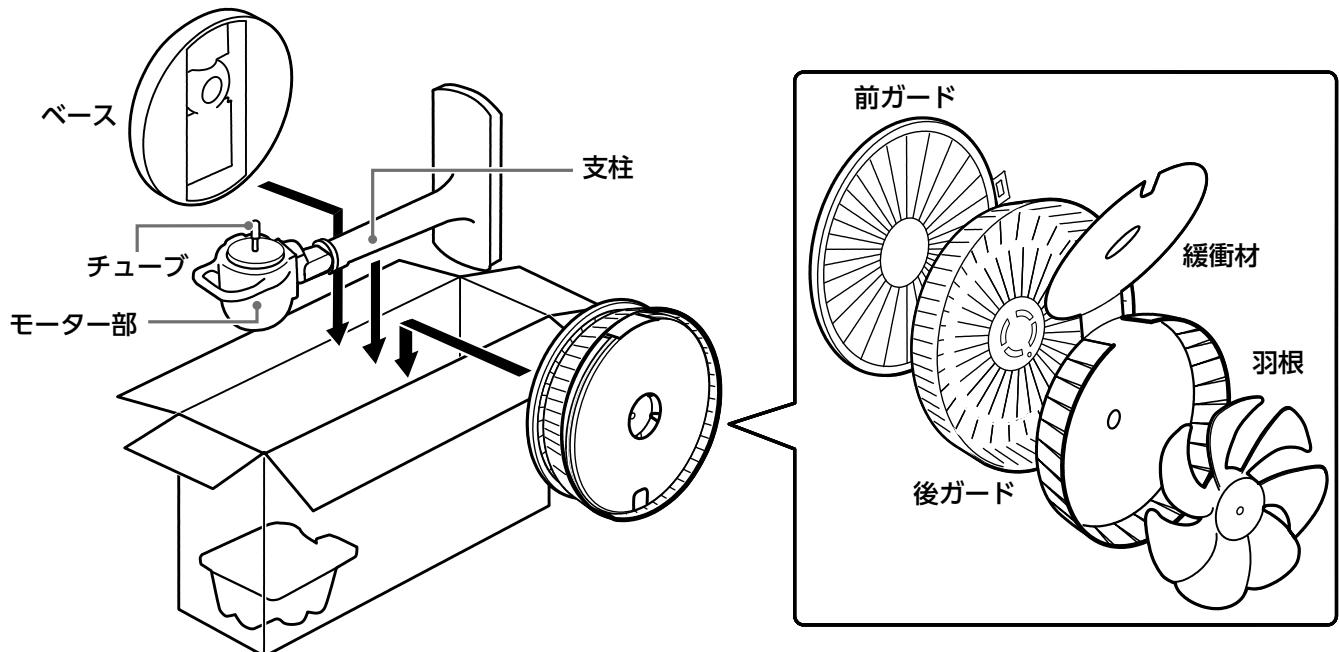
保管には、製品が入っていた箱、緩衝材やポリ袋などの梱包資材をお使いください。梱包資材は捨てずに保管しておいてください。

ご注意

保管するときは、必ずリモコンから電池を取り出してください。

電池が液もれをすることがあります。

以下のように収納して保管してください。



| 故障かな？と思ったら —修理を依頼する前にご確認ください—

Q1 電源が入らない。

- | | |
|-------------------------|--|
| A1 電源プラグが抜けていませんか。 | 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 |
| A2 チャイルドロックが設定されていませんか。 | 《入タイマー》ボタンをブザーが鳴るまで長押ししてチャイルドロックを解除してください。
►「チャイルドロックを設定する」(P 15) |

Q2 羽根が回らない。

- | | |
|---------------------|---|
| A1 電源プラグが抜けていませんか。 | 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 |
| A2 スピンナーがゆるんでいませんか。 | 羽根をスピナーノでしっかりと固定してください。
►「羽根を取り付ける」(P 9) |

Q3 羽根は回るが異常な音がする。

- | | |
|------------------------|---|
| A1 スピナーノがゆるんでいませんか。 | 羽根をスピナーノでしっかりと固定してください。
►「羽根を取り付ける」(P 9) |
| A2 ガードがしっかりと固定されていますか。 | 前ガードを後ろガードに確実にはめ込んでください。
►「前ガードを取り付ける」(P 10) |

Q4 リモコンで操作できない。

- | | |
|------------------------------|--|
| A1 リモコン受信部に向けて操作していますか。 | リモコンを本体のリモコン受信部に向けて操作してください。►「リモコンの使いかた」(P 7) |
| A2 電池は消耗していませんか。 | 新しい電池に交換してください。
►「電池交換のしかた」(P 7) |
| A3 電池の入れかた(+と-の向き)が間違っていますか。 | 電池を正しい向きで入れ直してください。
►「電池交換のしかた」(P 7) |
| A4 チャイルドロックが設定されていませんか。 | 《入タイマー》ボタンをブザーが鳴るまで長押ししてチャイルドロックを解除してください。
►「チャイルドロックを設定する」(P 15) |

Q5 本体の操作パネルのボタンを押しても操作できない。

- すべてのランプが3回点滅して操作できないときはチャイルドロックが設定されています。
- A 《入タイマー》ボタンをブザーが鳴るまで長押ししてチャイルドロックを解除してください。
►「チャイルドロックを設定する」(P 15)

| 故障かな?と思ったら

Q6 運転が自動的に止まる。

-
- | | |
|-------------------------------------|---|
| A1 切タイマーを設定していませんか。 | 切タイマーを解除してください。
➡「切タイマーを設定する」(P 12) |
| A2 操作せずに、8時間が経過していませんか。 | 操作を行わないまま、8時間経過すると、自動的に電源が切れる仕様になっています。
➡「切り忘れ防止(8時間)自動オフ機能」(P 11) |
| A3 入タイマーで運転開始後、操作せずに、3時間が経過していませんか。 | 入タイマーで運転開始後、3時間ボタン操作がない場合は、安全のため運転を停止します。
➡「入タイマーを設定する」(P 12) |
-

Q7 風量が変化するときの回転音が気になる。

-
- A 風量が一時的に強まるとき、モーターから“ウィーン”、“ウォーン”と音がすることがあります。モーター特有の音で、異常ではありません。
-

Q8 首振りするときの動作音が気になる。

-
- A 首振り運転時に、“カタカタ”、“コトコト”と音が一時的に強まることがあります。首振りモーター特有の音で、異常ではありません。
-

Q9 首振り角度がずれている。

-
- A 首振り運転中に手でガードを持って停止させると、首振りの角度がずれことがあります。
-

| 仕様

品名(型番)	リビング扇風機(ANGV-FAD30-B)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
消費電力	16 W
質量(約)	3.1 kg
外形寸法(約)	幅 36 cm × 奥行 36 cm × 高さ 66 ~ 85 cm
電源コードの長さ(約)	1.5 m
風量	8 段階
付属品	リモコン(テスト電池付き)、リモコンホルダー
原産国	中国

重 要

この製品は日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。

アフターサービスもできません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

No product service is available outside of Japan.

| 部品・消耗品・付属品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、販売店でご注文いただけます。

部品名	部品コード
リモコン	ANGV-FAD30-B-RMW (ホワイト) ANGV-FAD30-B-RMGY (グレー) ANGV-FAD30-B-RMPB (ピンクベージュ)
リモコンホルダー	ANGV-FAD30-B-RMCW (ホワイト) ANGV-FAD30-B-RMCGY (グレー) ANGV-FAD30-B-RMCPB (ピンクベージュ)
羽根	ANGV-FAD30-B-F

| 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。



【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。
【設計上の標準使用期間】本体に表示してあります。
・設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証するものではありません。

標準使用条件

日本産業規格JIS C9921-1による

環境条件	電圧	100V	製品の取扱説明書による (水平で安定した場所)
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30°C	
	湿度	65%	
負荷条件	設置条件	標準設置	製品の取扱説明書による
		定格負荷(風速)	
	1日あたりの使用時間	8(時間／日)	
	1日の使用回数	5(回／日)	
想定時間等	1年間の使用日数	110(日／年)	
	スイッチ操作回数	550(回／年)	
	首振り運転の割合	100(%)	

- 環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としています。
- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火／けが等の事故に至るおそれがあります。
- “経年劣化”とは、長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

アフターサービス

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(P 19)をご確認ください。それでも異常があるときは使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
- 製品と保証書・お買い上げレシートを準備し、下記のお問い合わせ先か販売店にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

保証書

保証書は記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

《保証期間中》

保証書の内容に従って修理いたします。

《保証期間が過ぎている場合》

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

※場合によっては修理できない場合もございます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取扱い・修理に関しては販売店へご相談ください。

※販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は下記の各お問い合わせ先にご相談・お問い合わせください

お客様の個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。ご質問の内容によりましては、適切な回答のためエディオングループ、および関係会社に情報を提供する場合がございます。その他、ご提供頂いたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

エディオングループ個人情報保護方針 <https://www.edion.co.jp/privacy>

お問い合わせ先

～製品に関するお問い合わせ～

エディオンお客さま相談センター



受付時間：月曜日～金曜日
9:30～18:30（土日祝・年末年始除く）

0570-07-0557

[有料]

※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いします。※所在地・電話番号・受付時間等につきましては、変更になる場合がございます。

(2025.3月時点)

～修理に関するお問い合わせ～

家電の119番



受付時間：月曜日～日曜日
9:00～19:00（年中無休）

0570-06-0119

[有料]

※年末年始に関しては受付時間が変更となる場合ございます。※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いします。

(2025.3月時点)



愛情点検

●長年ご使用の扇風機の点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 電源を入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても異常に回転が遅かったり不規則。
- 焦げくさいにおいや異常な音、振動がする。
- 羽根にヒビが入っている、ガードが変形している。
- その他の異常や故障がある。

→
ご使用
中止

事故の防止のため、
コンセントから電源
プラグを抜いて、
必ず販売店に点検を
ご依頼ください。